

わがふるさと自慢

東京幌加内会 副会長 森 谷 實



私の故郷には3つの日本一がある。

- 1、幌加内の朱鞠内湖が人造湖として日本一の広さで、夏はイトウという魚釣りに全国から釣り人が集まってくる様子がテレビや新聞で紹介されている。
- 2、蕎麦生産・面積でも日本一であり、我が埼玉県内でも「幌加内蕎麦」ののほりを立てた店があり、これを見る度に私のハート♡がホッコリと温まる。
- 3、日本最寒マイナス41・2度を幌加内町母子里で記録（昭和53年2月17日）。残念ながら公式記録にはなっていないが日本一の最低記録である。



私が育った頃の幌加内は勿論のことほとんどが農家で、その中でも我が森谷家は自慢の出来る程の貧乏で、今では笑い話として周囲の人に紹介しているがその生家も残っていないが今も懐かしい。今では幌加内の生活水準もかなり豊かになっ

て逆に羨ましい気がする程である。私の生まれ故郷としてこれからもますます発展してもらいたいと今は願う今日この頃である。



オホーツクブルーの美幌町は130年

東京美幌会 副会長 市川 冬兵衛



空も山も河も湖も森も畑もオホーツクブルーで染まる美幌は、天下の絶景の美幌峠に加え、藻琴山が眼前に迫り、秀峰斜里岳、名峰雌阿寒岳が紺碧の空に映えわたり、道東の中でも雄大な北海道らしさを色濃く残しているオホーツク

圏のほぼ中央に位置している街です。雄大さばかりではありません。四季折々の自然、あたたかい人々が住んでおります。

オンコの実が赤くなり、グスベリが少し柔らかくなると、霜が降りれば、山ブド

ウ、コクワが、食べられま

す。小さな秋を見つげに、美幌にいらつしやい。

雪虫が飛べば、もうそこま

で冬が。一段と碧い寒空にオリオン座が上がり、雪景色ま

でブルー。長靴で歩けばキョ

ッキュッと音がなる雪道を歩

きに美幌にいらつしやい。

福寿草がけなげに顔をだし、ネコヤナギが芽吹き、やっ

と春が。ひばりが高く舞い上

がり、カッコウの啼く春爛漫、

牧場に四葉のクローバーを見つ

けに美幌にいらつしやい。

ウグイ、ヤマメが清流に踊

り、キリギリスが元気に鳴き、

赤トンボが群れをなし、ギン

ヤンマが悠然と川面を渡り、

さそり座の真つ赤なアンタレ

スが輝く美幌にいらつしやい。

北海道弁でオホーツクブ

ルーのお話をしたくなつた

ら、あたたかいドサンコばか

りの美幌に来られたらイイン

デナイカイ。今年2017年

10月で、美幌町は開基130

年です。

春の小旅行

絶好の行楽日和

東京ふるさと新得会 会長 秋山 憲一



毎年恒例の春の小旅行、今年

は横浜八景島のシーパラダイ

ス経由、当会会員の高橋源

次さんの店で人気海鮮丼とカラ

オケを楽しみました。

4月16日(日)京急八景島駅

に総勢32名が現地集合。ここ

からシーサイドモノレールに

乗り継ぎ海の匂い絶景の島に

到着。シーパラダイスは各エ

リア4ブロックに分かれ、体

験、体感、遊戯など1日楽し

める楽園です。今回は1番の

人気アクアゾーンに2時間と

駆け足で館内を巡りました。

名物アトラクションで人気の

シロイルカショーをメインに

7万匹のイワシ群等幻想の世

界を楽しみました。

昼食は場所を移動隣町金

沢文庫「トマト」に集合。

当会員高橋さん経営、地球

食堂の人気海鮮丼に舌鼓。

天ぷら、おでん、サラダ豆

腐等、心温まる料理に登酒

の量もアップ、カラオケも

途切れがありませんでした。

東京ふるさと新得会は、

2月の総会に始まり4月の

小旅行、7月の納涼会、10

月のふるさと訪問気まま旅、

11月の川崎市民まつりでの



ふるさと物産の展示販売とゴ

ルフコンペ、毎回多くの会員

知人が参加しています。皆さ

んものぞきにきてください。

北洋銀行は

がんばっているあなたを

応援します。

HOKUYO BANK

ほくよ 仲間たち

北洋銀行

www.hokuyobank.co.jp